

米国国債ファンド

為替ヘッジあり(年1回決算型)
為替ヘッジなし(年1回決算型)
フレックスヘッジ(年1回決算型)

運用報告書(全体版) 第12期

(決算日 2025年3月26日)

(作成対象期間 2024年3月27日～2025年3月26日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	為替ヘッジあり	2013年6月27日～2050年3月25日	
	為替ヘッジなし		
	フレックスヘッジ	2013年6月27日～2028年3月24日	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	米国国債マザーファンドの受益証券	
	米国国債マザーファンド	米国国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3170>
<3171>
<3172>

為替ヘッジあり (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (米ドルベース)		公社債 組比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2021年3月26日)	10,495	0	△ 4.7	12,202	△ 2.9	97.9	—	3,993
9期末(2022年3月28日)	9,880	0	△ 5.9	11,592	△ 5.0	98.9	—	3,602
10期末(2023年3月27日)	9,148	0	△ 7.4	11,231	△ 3.1	94.3	—	3,585
11期末(2024年3月26日)	8,466	0	△ 7.5	11,136	△ 0.8	96.5	—	5,713
12期末(2025年3月26日)	8,265	0	△ 2.4	11,614	4.3	97.9	—	5,446

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,466円

期末：8,265円（分配金0円）

騰落率：△2.4%（分配金込み）

基準価額の変動要因

米国国債に投資し為替ヘッジを行った結果、債券価格の上昇や、投資している債券からの利息収入はプラス要因となりましたが、為替ヘッジコストがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (米ドルベース)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2024年3月26日	8,466	—	11,136	—	96.5	—	
3月末	8,491	0.3	11,168	0.3	97.1	—	
4月末	8,242	△ 2.6	10,955	△ 1.6	99.2	—	
5月末	8,264	△ 2.4	11,040	△ 0.9	96.8	—	
6月末	8,383	△ 1.0	11,238	0.9	98.8	—	
7月末	8,446	△ 0.2	11,375	2.1	93.5	—	
8月末	8,569	1.2	11,610	4.3	97.5	—	
9月末	8,623	1.9	11,747	5.5	95.7	—	
10月末	8,314	△ 1.8	11,439	2.7	98.1	—	
11月末	8,316	△ 1.8	11,494	3.2	94.6	—	
12月末	8,122	△ 4.1	11,316	1.6	98.0	—	
2025年1月末	8,175	△ 3.4	11,426	2.6	96.2	—	
2月末	8,291	△ 2.1	11,607	4.2	97.5	—	
(期末) 2025年3月26日	8,265	△ 2.4	11,614	4.3	97.9	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2024. 3. 27 ~ 2025. 3. 26)

■米国債券市況

米国の短中期金利は低下（債券価格は上昇）、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国債券市場では、当作成期首から2024年4月末にかけて、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから過度な利下げ織り込みがはく落し、金利が上昇しました。5月から9月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったことや、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことなどから、短中期中心に金利は低下基調となりました。10月から12月末にかけては、大統領選挙を控えた財政赤字の拡大に対する懸念が高まったことや、底堅い米国経済を背景にF R Bの利下げペースの鈍化が意識されたことから、中長期中心に金利は上昇しました。2025年に入ってから、インフレの鈍化傾向が継続したことや、各種経済指標が予想を下振れたことなどから、当作成期末にかけて短中期中心に金利は低下しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

(2024. 3. 27 ~ 2025. 3. 26)

当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

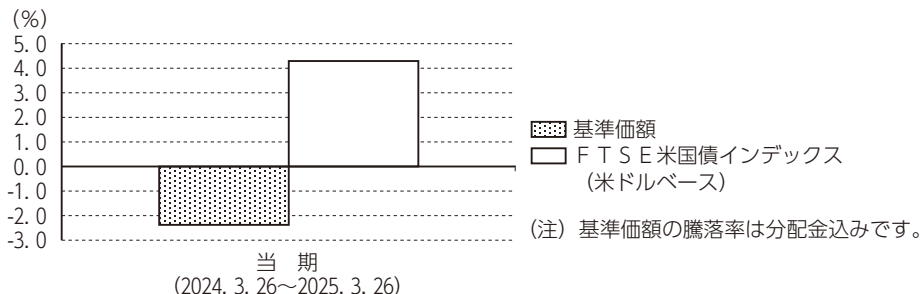
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2024年3月27日 ～2025年3月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,020

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 27~2025. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	1. 144%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 352円です。
(投 信 会 社)	(46)	(0. 550)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0. 550)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	97	1. 166	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

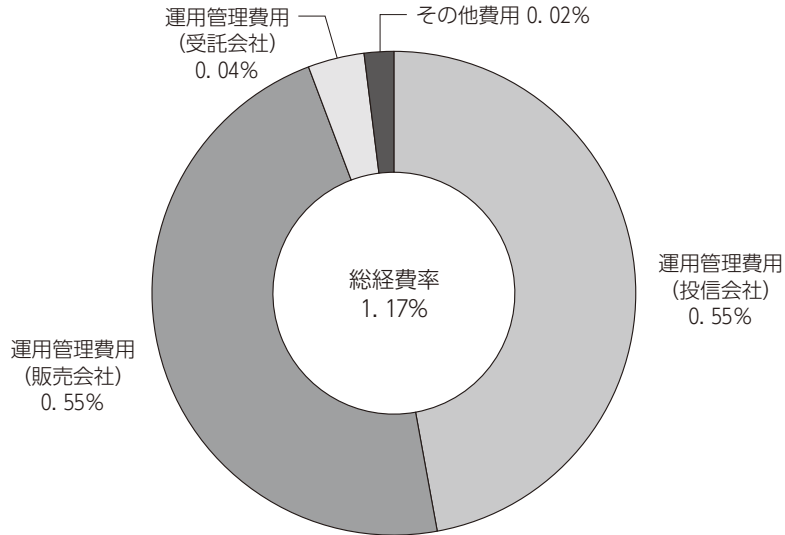
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月27日から2025年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債 マザーファンド	1,257,602	2,277,700	1,488,756	2,722,500

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	3,175,334	2,944,180	5,404,631	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	5,404,631	98.2
コール・ローン等、その他	99,818	1.8
投資信託財産総額	5,504,450	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.20円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(20,947,002千円)の投資信託財産総額(21,017,121千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,862,057,203円
コール・ローン等	99,818,619
米国国債マザーファンド(評価額)	5,404,631,938
未収入金	5,357,606,646
(B) 負債	5,415,267,195
未払金	5,383,303,764
未払解約金	153,613
未払信託報酬	31,582,153
その他未払費用	227,665
(C) 純資産総額(A-B)	5,446,790,008
元本	6,589,861,667
次期繰越損益金	△ 1,143,071,659
(D) 受益権総口数	6,589,861,667口
1万口当り基準価額(C/D)	8,265円

* 期首における元本額は6,748,974,371円、当作成期間中における追加設定元本額は1,768,055,407円、同解約元本額は1,927,168,111円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,265円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,143,071,659円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月27日 至2025年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	236,847円
受取利息	236,847
(B) 有価証券売買損益	△ 66,028,042
売買益	1,143,243,083
売買損	△ 1,209,271,125
(C) 信託報酬等	△ 65,516,916
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 131,308,111
(E) 前期繰越損益金	△ 457,965,177
(F) 追加信託差損益金	△ 553,798,371
(配当等相当額)	(507,299,404)
(売買損益相当額)	(△ 1,061,097,775)
(G) 合計(D+E+F)	△ 1,143,071,659
次期繰越損益金(G)	△ 1,143,071,659
追加信託差損益金	△ 553,798,371
(配当等相当額)	(507,299,404)
(売買損益相当額)	(△ 1,061,097,775)
分配準備積立金	165,025,259
繰越損益金	△ 754,298,547

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	507,299,404
(d) 分配準備積立金	165,025,259
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	672,324,663
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	672,324,663
(h) 受益権総口数	6,589,861,667口

為替ヘッジなし (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組入率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2021年3月26日)	13,224	0	△ 5.1	13,660	△ 4.2	98.4	—	1,985
9期末(2022年3月28日)	13,991	0	5.8	14,513	6.2	98.6	—	1,509
10期末(2023年3月27日)	14,427	0	3.1	15,027	3.5	97.6	—	1,534
11期末(2024年3月26日)	16,326	0	13.2	17,260	14.9	97.6	—	4,460
12期末(2025年3月26日)	16,699	0	2.3	17,866	3.5	98.3	—	5,229

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：16,326円

期 末：16,699円（分配金0円）

騰落率：2.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となりましたが、債券価格の上昇や投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2024年3月26日	16,326	—	17,260	—	97.6	—	
3月末	16,389	0.4	17,318	0.3	98.3	—	
4月末	16,564	1.5	17,603	2.0	99.0	—	
5月末	16,667	2.1	17,722	2.7	97.3	—	
6月末	17,449	6.9	18,538	7.4	98.9	—	
7月末	16,737	2.5	17,760	2.9	97.7	—	
8月末	16,236	△ 0.6	17,218	△ 0.2	98.5	—	
9月末	16,180	△ 0.9	17,171	△ 0.5	98.0	—	
10月末	16,853	3.2	17,999	4.3	98.3	—	
11月末	16,610	1.7	17,745	2.8	97.7	—	
12月末	17,086	4.7	18,332	6.2	98.5	—	
2025年1月末	16,856	3.2	18,071	4.7	97.6	—	
2月末	16,643	1.9	17,793	3.1	98.8	—	
(期末) 2025年3月26日	16,699	2.3	17,866	3.5	98.3	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 3. 27 ~ 2025. 3. 26）

■ 米国債券市況

米国の短中期金利は低下（債券価格は上昇）、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国債券市場では、当作成期首から2024年4月末にかけて、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから過度な利下げ織り込みがはく落し、金利が上昇しました。5月から9月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったことや、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことなどから、短中期中心に金利は低下基調となりました。10月から12月末にかけては、大統領選挙を控えた財政赤字の拡大に対する懸念が高まったことや、底堅い米国経済を背景にF R Bの利下げペースの鈍化が意識されたことから、中長期中心に金利は上昇しました。2025年に入ってから、インフレの鈍化傾向が継続したことや、各種経済指標が予想を下振れたことなどから、当作成期末にかけて短中期中心に金利は低下しました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2024年6月末にかけて、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高となりました。7月から9月末にかけては、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まり、実際に利上げを行ったことや、米国金利の低下による日米金利差の縮小などから大幅な円高米ドル安に転じました。10月から12月末にかけては、米国金利が上昇したことで日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高となりました。2025年に入ってから、日銀が1月の金融政策決定会合において利上げを行ったことや米国金利の低下などから、当作成期末にかけて円高米ドル安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

(2024. 3. 27 ~ 2025. 3. 26)

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。

■米国国債マザーファンド

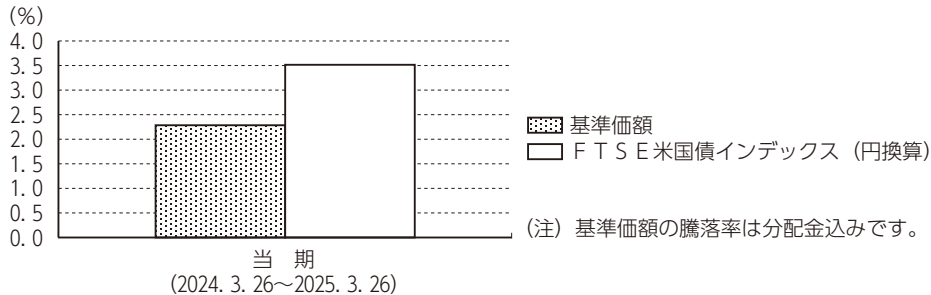
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2024年3月27日 ～2025年3月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6,698

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 27~2025. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	191円	1.144%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,700円です。
(投 信 会 社)	(92)	(0.550)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.550)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.022	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	195	1.166	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

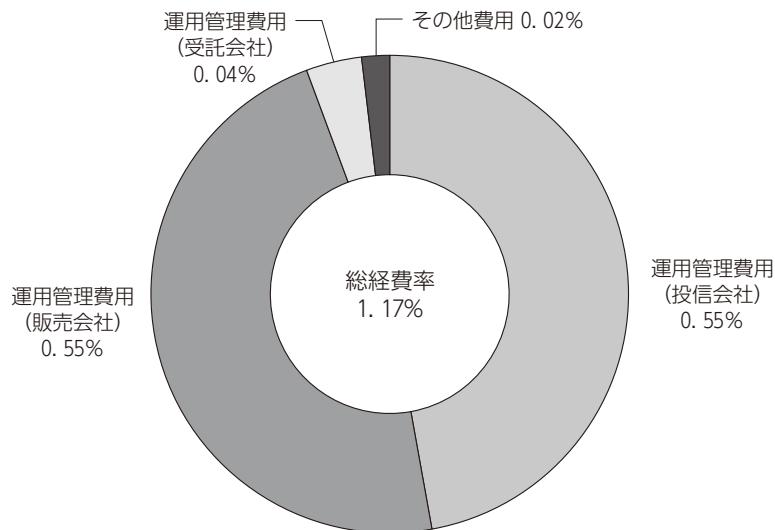
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月27日から2025年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債 マザーファンド	1,163,498	2,124,600	831,141	1,500,700

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	2,507,962	2,840,319	5,213,974	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	5,213,974	99.1
コール・ローン等、その他	45,526	0.9
投資信託財産総額	5,259,500	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.20円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(20,947,002千円)の投資信託財産総額(21,017,121千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,259,500,804円
コール・ローン等	45,526,544
米国国債マザーファンド(評価額)	5,213,974,260
(B) 負債	29,789,920
未払解約金	1,021,416
未払信託報酬	28,562,612
その他未払費用	205,892
(C) 純資産総額(A-B)	5,229,710,884
元本	3,131,832,199
次期繰越損益金	2,097,878,685
(D) 受益権総口数	3,131,832,199口
1万口当り基準価額(C/D)	16,699円

* 期首における元本額は2,732,044,423円、当作成期間中における追加設定元本額は1,685,095,574円、同解約元本額は1,285,307,798円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,699円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月27日 至2025年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	43,396円
受取利息	43,396
(B) 有価証券売買損益	117,255,751
売買益	148,006,771
売買損	△ 30,751,020
(C) 信託報酬等	△ 54,103,217
(D) 当期損益金(A+B+C)	63,195,930
(E) 前期繰越損益金	215,125,537
(F) 追加信託差損益金	1,819,557,218
(配当等相当額)	(1,142,976,189)
(売買損益相当額)	(676,581,029)
(G) 合計(D+E+F)	2,097,878,685
次期繰越損益金(G)	2,097,878,685
追加信託差損益金	1,819,557,218
(配当等相当額)	(1,142,976,189)
(売買損益相当額)	(676,581,029)
分配準備積立金	278,321,467

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	21,755円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	63,172,560
(c) 収益調整金	1,819,557,218
(d) 分配準備積立金	215,127,152
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,097,878,685
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,097,878,685
(h) 受益権総口数	3,131,832,199口

フレックスヘッジ (年1回決算型)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組入率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期末(2021年3月26日)	12,663	0	△ 4.2	13,660	△ 4.2	98.5	—	187
9期末(2022年3月28日)	12,693	0	0.2	14,513	6.2	98.5	—	173
10期末(2023年3月27日)	12,603	0	△ 0.7	15,027	3.5	95.2	—	145
11期末(2024年3月26日)	14,075	0	11.7	17,260	14.9	97.6	—	248
12期末(2025年3月26日)	14,308	0	1.7	17,866	3.5	98.3	—	208

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

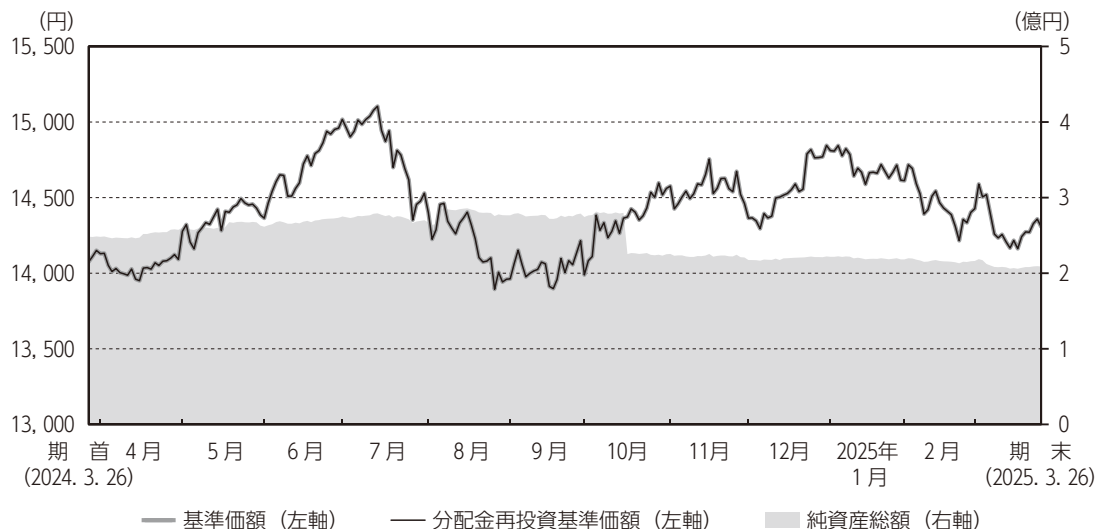
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,075円

期末：14,308円 (分配金0円)

騰落率：1.7% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、円高米ドル安などはマイナス要因となりましたが、債券価格の上昇や投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2024年3月26日	14,075	—	17,260	—	97.6	—	
3月末	14,129	0.4	17,318	0.3	98.3	—	
4月末	14,278	1.4	17,603	2.0	99.0	—	
5月末	14,364	2.1	17,722	2.7	97.3	—	
6月末	15,017	6.7	18,538	7.4	98.9	—	
7月末	14,401	2.3	17,760	2.9	97.7	—	
8月末	13,963	△ 0.8	17,218	△ 0.2	98.5	—	
9月末	13,989	△ 0.6	17,171	△ 0.5	98.0	—	
10月末	14,576	3.6	17,999	4.3	98.3	—	
11月末	14,364	2.1	17,745	2.8	97.7	—	
12月末	14,811	5.2	18,332	6.2	97.8	—	
2025年1月末	14,612	3.8	18,071	4.7	97.7	—	
2月末	14,427	2.5	17,793	3.1	98.9	—	
(期末) 2025年3月26日	14,308	1.7	17,866	3.5	98.3	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

■米国債券市況

米国の短中期金利は低下（債券価格は上昇）、長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国債券市場では、当作成期首から2024年4月末にかけて、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから過度な利下げ織り込みがはく落し、金利が上昇しました。5月から9月末にかけては、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行ったことや、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことなどから、短中期中心に金利は低下基調となりました。10月から12月末にかけては、大統領選挙を控えた財政赤字の拡大に対する懸念が高まったことや、底堅い米国経済を背景にF R Bの利下げペースの鈍化が意識されたことから、中長期中心に金利は上昇しました。2025年に入ってから、インフレの鈍化傾向が継続したことや、各種経済指標が予想を下振れたことなどから、当作成期末にかけて短中期中心に金利は低下しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で下落（円高）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2024年6月末にかけて、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高となりました。7月から9月末にかけては、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まり、実際に利上げを行ったことや、米国金利の低下による日米金利差の縮小などから大幅な円高米ドル安に転じました。10月から12月末にかけては、米国金利が上昇したことで日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高となりました。2025年に入ってから、日銀が1月の金融政策決定会合において利上げを行ったことや米国金利の低下などから、当作成期末にかけて円高米ドル安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

ポートフォリオについて

(2024. 3. 27 ~ 2025. 3. 26)

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行いました。

■米国国債マザーファンド

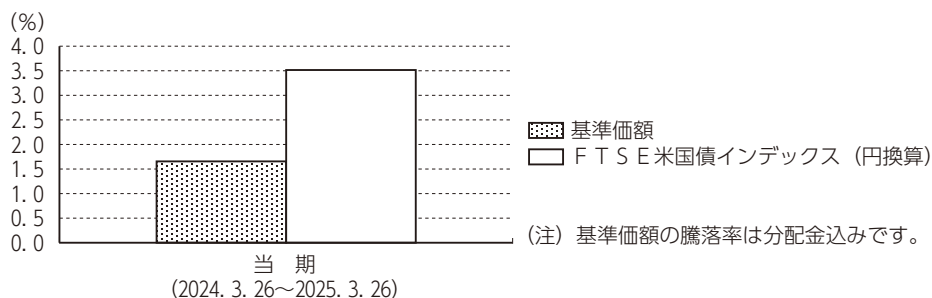
米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額だったため、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当たり)

項 目	当 期	
	2024年3月27日 ～2025年3月26日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	4,308	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 3. 27~2025. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	178円	1. 232%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は 14, 427円です。
(投 信 会 社)	(92)	(0. 638)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(79)	(0. 550)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 044)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0. 025	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	181	1. 257	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

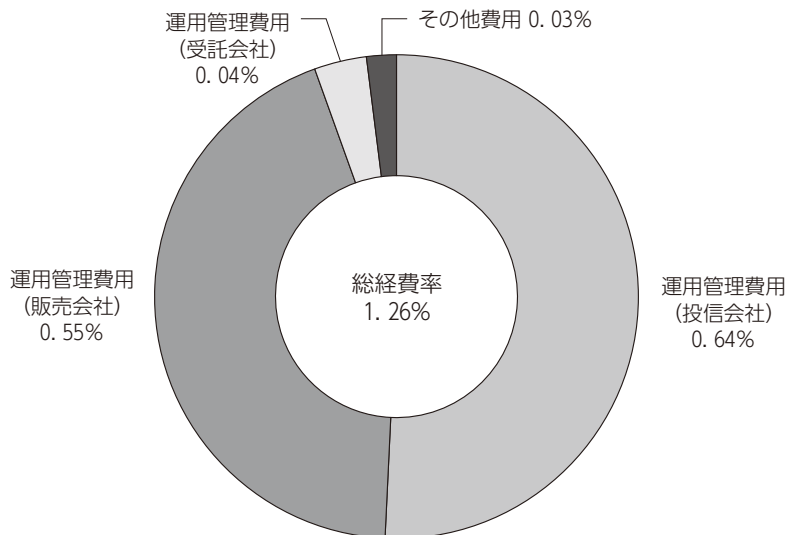
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年3月27日から2025年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
米国国債 マザーファンド	38,286	69,210	64,500	117,220

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千□	千円	千□	千円
米国国債マザーファンド	139,607	208,156	113,393	208,156

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	208,156	99.0
コール・ローン等、その他	2,015	1.0
投資信託財産総額	210,172	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝150.20円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(20,947,002千円)の投資信託財産総額(21,017,121千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	210,172,078円
コール・ローン等	2,015,368
米国国債マザーファンド(評価額)	208,156,710
(B) 負債	1,388,218
未払解約金	2,624
未払信託報酬	1,376,451
その他未払費用	9,143
(C) 純資産総額(A-B)	208,783,860
元本	145,919,659
次期繰越損益金	62,864,201
(D) 受益権総口数	145,919,659口
1万口当り基準価額(C/D)	14,308円

* 期首における元本額は176,412,221円、当作成期間中における追加設定元本額は49,684,804円、同解約元本額は80,177,366円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,308円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月27日 至2025年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,244円
受取利息	2,244
(B) 有価証券売買損益	5,346,738
売買益	18,462,835
売買損	△ 13,116,097
(C) 信託報酬等	△ 3,069,534
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,279,448
(E) 前期繰越損益金	12,642,971
(F) 追加信託差損益金	47,941,782
(配当等相当額)	(41,570,038)
(売買損益相当額)	(6,371,744)
(G) 合計(D+E+F)	62,864,201
次期繰越損益金(G)	62,864,201
追加信託差損益金	47,941,782
(配当等相当額)	(41,570,038)
(売買損益相当額)	(6,371,744)
分配準備積立金	14,922,419

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,016円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,278,373
(c) 収益調整金	47,941,782
(d) 分配準備積立金	12,643,030
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	62,864,201
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	62,864,201
(h) 受益権総口数	145,919,659口

米国国債マザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2025年3月26日)

(作成対象期間 2024年3月27日～2025年3月26日)

米国国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

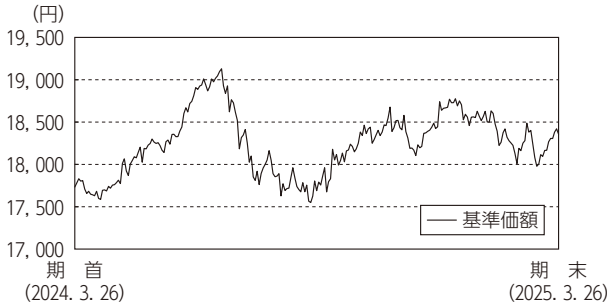
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSE米国債 インデックス (円換算)		公 社 債 組 入 率 比	債券先物 比 率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2024年 3月26日	17,733	—	17,260	—	97.9	—
3月末	17,803	0.4	17,318	0.3	98.6	—
4月末	18,012	1.6	17,603	2.0	99.2	—
5月末	18,141	2.3	17,722	2.7	97.4	—
6月末	19,011	7.2	18,538	7.4	98.9	—
7月末	18,251	2.9	17,760	2.9	97.6	—
8月末	17,720	△ 0.1	17,218	△ 0.2	98.3	—
9月末	17,676	△ 0.3	17,171	△ 0.5	98.3	—
10月末	18,440	4.0	17,999	4.3	98.5	—
11月末	18,190	2.6	17,745	2.8	97.8	—
12月末	18,729	5.6	18,332	6.2	98.5	—
2025年 1月末	18,498	4.3	18,071	4.7	97.5	—
2月末	18,281	3.1	17,793	3.1	98.6	—
(期末) 2025年 3月26日	18,357	3.5	17,866	3.5	98.6	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：17,733円 期末：18,357円 騰落率：3.5%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となりましたが、債券価格の上昇や投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国の短中期金利は低下(債券価格は上昇)、長期金利は上昇(債券価格は下落)しました。

米国債券市場では、当作成期首から2024年4月末にかけて、底堅い米国経済を背景に経済指標が市場予想を上回ったことなどから過度な利下げ織り込みがはく落し、金利が上昇しました。5月から9月末にかけては、FRB(米国連邦準備制度理事会)が利下げを行ったことや、雇用統計などの各種経済指標が予想を下振れたことなどから、短中期中心に金利は低下基調となりました。10月から12月末にかけては、大統領選挙を控えた財政赤字の拡大に対する懸念が高まったことや、底堅い米国経済を背景にFRBの利下げペースの鈍化が意識されたことから、中長期中心に金利は上昇しました。2025年に入ってから、インフレの鈍化傾向が継続したことや、各種経済指標が予想を下振れたことなどから、当作成期末にかけて短中期中心に金利は低下しました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で下落(円高)しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2024年6月末にかけて、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安米ドル高となりました。7月から9月末にかけては、日銀が7月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まり、実際に利上げを行ったことや、米国金利の低下による日米金利差の縮小などから大幅な円高米ドル安に転じました。10月から12月末にかけては、米国金利が上昇したことや日米金利差の拡大が意識されたことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、円安米ドル高となりました。2025年に入ってから、日銀が1月の金融政策決定会合において利上げを行ったことや米国金利の低下などから、当作成期末にかけて円高米ドル安となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

米国国債マザーファンド

《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年3月27日から2025年3月26日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
	アメリカ	国債証券	31,000	10,558 (8,855)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年3月27日から2025年3月26日まで)

当 期			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄			銘 柄		
		千円			千円
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.625% 2040/2/15	1,345,810	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2% 2025/2/15	185,378
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	1.625% 2026/2/15	260,643	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	1.625% 2026/2/15	180,596
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.75% 2028/2/15	253,430	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.25% 2027/2/15	163,099
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.25% 2027/2/15	253,189	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.75% 2028/2/15	154,045
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.625% 2029/2/15	245,231	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2.625% 2029/2/15	143,132
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.75% 2037/2/15	240,698	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	1.5% 2030/2/15	122,536
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.375% 2038/2/15	228,445	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND (アメリカ)	1.875% 2032/2/15	98,493
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	2% 2025/2/15	226,199	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	1.125% 2031/2/15	96,486
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.5% 2036/2/15	222,828	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.5% 2036/2/15	71,170
United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	1.5% 2030/2/15	211,869	United States Treasury Note/Bond (アメリカ)	4.75% 2037/2/15	69,260

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
アメリカ	千アメリカ・ドル 154,909	千アメリカ・ドル 137,971	千円 20,723,300	% 98.6	% —	% 65.8	% 19.7	% 13.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.3750	千アメリカ・ドル 4,589	千アメリカ・ドル 4,884	733,580	2031/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.5000	8,952	9,143	1,373,364	2036/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.7500	8,785	9,136	1,372,326	2037/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.3750	9,157	9,134	1,371,984	2038/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.5000	10,126	9,138	1,372,574	2039/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	4.6250	9,030	9,124	1,370,547	2040/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	9,374	9,166	1,376,745	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	9,483	9,180	1,378,852	2027/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	9,516	9,195	1,381,164	2028/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	9,695	9,205	1,382,695	2029/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	10,397	9,219	1,384,743	2030/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.1250	5,100	4,311	647,585	2031/02/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	1.8750	10,669	9,196	1,381,260	2032/02/15
	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	国債証券	3.5000	3,730	3,546	532,693	2033/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	8,041	5,720	859,283	2033/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	13,779	9,331	1,401,661	2034/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	14,486	9,335	1,402,236	2035/02/15
合 計	銘柄数 金 額	17銘柄		154,909	137,971	20,723,300	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

米国国債マザーファンド

■投資信託財産の構成

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	20,723,300	98.6
コール・ローン等、その他	293,820	1.4
投資信託財産総額	21,017,121	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝150.20円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(20,947,002千円)の投資信託財産総額(21,017,121千円)に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	21,017,121,135円
コール・ローン等	234,988,768
公社債(評価額)	20,723,300,472
未収利息	57,495,330
前払費用	1,336,565
(B) 負債	2,800,000
未払解約金	2,800,000
(C) 純資産総額(A-B)	21,014,321,135
元本	11,447,373,897
次期繰越損益金	9,566,947,238
(D) 受益権総口数	11,447,373,897口
1万口当り基準価額(C/D)	18,357円

* 期首における元本額は10,834,366,261円、当作成期間中における追加設定元本額は3,952,465,207円、同解約元本額は3,339,457,571円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

米国国債ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)	2,944,180,388円
米国国債ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)	2,840,319,366円
米国国債ファンド フレックスヘッジ(年1回決算型)	113,393,643円
米国国債ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)	4,214,317,936円
米国国債ファンド 為替ヘッジあり(毎月決算型)	125,079,252円
米国S & P500フレックス戦略ファンド	250,969,957円
米国国債ファンド 為替ヘッジなし(奇数月決算型)	959,113,355円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,357円です。

■損益の状況

当期 自2024年3月27日 至2025年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	641,193,274円
受取利息	641,193,274
(B) 有価証券売買損益	43,565,944
売買益	352,070,749
売買損	△ 308,504,805
(C) その他費用	△ 2,747,829
(D) 当期損益金(A+B+C)	682,011,389
(E) 前期繰越損益金	8,377,963,485
(F) 解約差損益金	△ 2,737,052,429
(G) 追加信託差損益金	3,244,024,793
(H) 合計(D+E+F+G)	9,566,947,238
次期繰越損益金(H)	9,566,947,238

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。